

1 2 拉致問題の早期解決

1 拉致問題の全容解明と拉致被害者等の早期帰国の実現

【提案内容】

提出先 内閣官房、外務省

- (1) 北朝鮮当局による拉致問題の全面解決のため、関係諸国や国際機関等と連携・協調し、**拉致問題の徹底的な全容解明と特定失踪者を含む安否不明者の生存確認及び早期帰国の実現を図ること。**

◆現状・課題

平成14年9月の日朝首脳会談において北朝鮮当局が、初めて日本人の拉致を認め、5人の拉致被害者が帰国してから、15年近くが経過している。拉致被害者の帰国を待つご家族の高齢化も進み、残された時間は非常に少なく、家族会並びに救う会からも「今年中の全ての拉致被害者の救出」が強く求められており、早期帰国の実現が必要である。

平成26年3月には、北朝鮮における人権に関する国連調査委員会が、拉致問題を含めた人権侵害に関する最終報告書を国連人権理事会に提出し、人権侵害を非難する決議がされた。また、7月には北朝鮮において、日本人拉致被害者等の安否を調査する特別調査委員会が設置された。しかし昨年、北朝鮮による核実験の実施や弾道ミサイルの発射等挑発行為が続き、日本政府が独自制裁を強化したことを受け、北朝鮮は一方的に日本人拉致被害者等全ての日本人に関する包括的調査の全面的中止及び特別調査委員会の解体を表明し、その後動きがない状況である。

拉致問題は、日本と北朝鮮との関係にとどまらない国際的な人権侵害問題であることから、関係諸国や国際機関等と連携して取組を進める必要がある。

さらに、安否不明者の生存確認など、北朝鮮による拉致の疑いが排除できないいわゆる特定失踪者にまで拉致問題の取組の枠を広げる必要がある。

◆実現による効果

拉致問題の全面解決及び拉致被害者等の帰国により、拉致被害者家族及び県民の悲願が実現する。



(神奈川県担当課：県民局国際課)

- (2) 「対話と圧力」、「行動対行動」という姿勢で日朝政府間協議に臨むとともに、交渉期限を設定するなどあらゆる方策を尽くし、**拉致問題の全面解決を粘り強く迫ること。**

◆現状・課題

外交交渉や制裁措置の実施にもかかわらず、拉致問題はいまだに解決していない。政府は、「対話と圧力」、「行動対行動」を基本姿勢として、拉致問題の全面解決に向けて、交渉期限を設定するなどあらゆる方策を講じる必要がある。

◆実現による効果

拉致問題の全面解決により、拉致被害者家族及び県民の悲願が実現する。

(神奈川県担当課：県民局国際課)

- (3) 北朝鮮に不測の事態が発生した場合に備え、**拉致被害者の安全を確保するため**、関係諸国や国際機関等と連携し、適切に対応できるよう準備を進めること。

◆現状・課題

北朝鮮は、組織的、広範かつ深刻な人権侵害を行っており、「北朝鮮における人権に関する国連調査委員会」報告書においても非難されている。また、側近の粛清が続いていることや、今年2月には、マレーシアにおいて金正恩第一委員長の兄である金正男が殺害され、北朝鮮の関わりが指摘されている。さらに、北朝鮮は昨年来、核実験や弾道ミサイルの発射など国際社会に対する威嚇を続けており、朝鮮半島を巡る情勢は緊張が高まっている。

北朝鮮は体制維持のため、厳しい対応を行っており、万が一が一体制が崩壊するなど不測の事態が発生した場合、拉致被害者等邦人の安全確保が課題である。

◆実現による効果

北朝鮮に不測の事態が生じた場合、円滑な邦人の救出が実現する。

(神奈川県担当課：県民局国際課)

(4) 拉致問題を風化させないための取組をより一層強化すること。

◆現状・課題

拉致問題は、発生から40年以上の長い年月が経過しており、拉致被害者等のご家族の高齢化も進んでいる。解決に向けては、国民の世論を盛り上げ、交渉の後押しをしていく必要がある。しかしながら、問題発生から長い年月が経過しているため、絶えず世論を盛り上げ維持していくためには、粘り強い啓発活動を実施していく必要がある。

○平成28年度拉致問題に関する本県の主な取組

1 映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映

- ・日付 平成29年2月15日
- ・場所 横浜情報文化センター 情文ホール
- ・内容 映画の上映、横田めぐみさん、特定失踪者パネルの展示



2 「すべての拉致被害者救出を！」めぐみさんと家族の写真展

- ・日付 平成28年12月3日
- ・場所 新都市プラザ
- ・内容 黒岩祐治知事、柏崎誠横浜市副市長、松田良昭拉致問題地方議会全国協議会会長、北朝鮮に拉致された日本人を救う神奈川県議会有志の会代表あいさつ、横田めぐみさん写真展、神奈川県にゆかりのある特定失踪者パネル展示、アニメめぐみ等の上映、拉致被害者御家族（横田早紀江さん）、特定失踪者御家族の訴え、横田めぐみさんの同級生の吉田直矢さんコンサート

3 神奈川県ゆかりの特定失踪者パネル等の展示

- ・期間 平成28年4月～平成29年2月
- ・場所 57か所（県民利用施設や県内市役所ロビーなど）
- ・内容 神奈川県ゆかりの特定失踪者パネル等を県内全市町村で展示

◆実現による効果

拉致問題の風化を防止し、解決に向けた国民世論が喚起される。

(神奈川県担当課：県民局国際課)